

大樹の礎

Taiju no Ishizue

第26号 2020 7.7
 発行者：学校法人城西医療学園
日本医療科学大学
 Nihon Institute of Medical Science
 〒350-0435
 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276
 TEL.049-294-9000
 URL https://www.nims.ac.jp

令和3年度に臨床検査学科を新設

伊藤昭三教授(学科長就任予定)

医師は、病気の診断や進行状況、治療の効果や回復の状況など臨床検査の結果から様々な判断を行います。以前は医師が検査を担っていました。医師が検査を担っていたが、医療の分業化と検査の高度化が進み、検査を専門に行う「臨床検査技師」が生まれました。また、超高齢社会が叫ばれる昨今、予防医療の観点から定期的な健康診断が制度化され、そのほとんどが臨床検査の分野となっています。こうした背景から、臨床検査技師は現代の医療に不可欠の存在だと言えます。



最新設備を備えた新棟(イメージパース)

臨床検査技師が働く場所は、病院をはじめ保健所や臨床検査センターなど、製薬会社、食品メーカー、公的機関などにも就職が可能です。また、不妊治療や創薬の現場でも活躍しています。

近年の医療技術の高度化や専門化は目覚ましく、今まで診断不能といわれていた疾患も最新の検査により、診断・治療が可能になってきています。また、医療現場では様々な専門職が連携する「チーム医療」が主流となっています。本学科では、充実した設備と実習により、臨床医学・臨床検査医学の知識やAI搭載の最新機器を使いこなす技術力、医師・看護師・診療放射線技師などの横断的なコミュニケーション能力を持った臨床検査技師を育成します。



新学科では臨床検査技師を養成(イメージ)

Interview

国家試験合格はもとより豊かな人間性をはぐくみ将来にわたって大きく羽ばたく人材に



新藤博明学長

門知識と技術の習得だけではなく、豊かな人間性をはぐくみ、将来にわたって大きく羽ばたく人材を育てる大学です。教職員全員、学修以外でも全力でサポートしてまいります。

平成から令和へ2年連続国家試験合格率100%

—昨年度の理学療法士国家試験、診療放射線技師国家試験において合格率100%を達成しました。その要因をお教えください。
 学長 理学療法士国家試験は2年連続で、今春はさらに診療放射線技師国家試験でも合格率が100%でした。平成から令和への節目に良い弾みがついたと感じています。

こうした実績が、一人一人の学生の頑張りと、専門学校時代から続く綿密で丁寧な教員の指導の賜物であることは明らかです。そして、本学は医療従事者としての専

令和元年度 学位記授与

3月10日に執り行う予定でした令和元年度学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止の観点により縮小開催となりました。診療放射線学科82名、理学療法学専攻88名、作業療法学専攻20名、看護学専攻92名、臨床工学科36名の合計318名が本学を卒業しました。



本学での経験を生かし、医療職への第一歩を踏み出す

2019 Graduation Ceremony

令和元年度卒業生表彰者

- 診療放射線学科
 - 学長賞 石原 頌平
 - 埼玉県診療放射線技師会 会長賞 神崎 胡桃
 - 埼玉県診療放射線技師会 奨励賞 小林
- 理学療法学専攻
 - 学長賞 柳川 茉莉奈
 - 日本理学療法士協会 学業優秀賞 高野 涼介
 - 全国リハビリテーション学校協会 優秀賞 近藤 郁実
- 作業療法学専攻
 - 学長賞 中村由佳子
 - 埼玉県作業療法士会 会長賞 野口亜美沙
 - 日本作業療法士協会 優秀学生賞 福島 莉紗
 - 全国リハビリテーション学校協会 優秀賞 今坂 瑛駿
- 看護学科
 - 学長賞 内田 愛理
 - 埼玉県看護協会 会長賞 川上 七海
 - 日本私立看護系大学協会 会長賞 阿部 和宏
- 臨床工学科
 - 学長賞 竹森 竜矢
 - 埼玉県臨床工学技士会 会長賞 前川 杏果
 - 日本臨床工学技士会 理事長奨励賞 山崎 友華
 - 日本臨床工学技士教育施設協議会 代表理事賞 田村 綱太

—令和3年に予定されている臨床検査学科新設の経緯や狙いをお教え願います。
 学長 開学当初の2学科・2専攻の体制が揺るぎないものになったことを受け、平成24年に看護学科、臨床工学科を増設しました。さらにこの2学科も安定し運営できるところになったことを踏まえ、今般、臨床検査学科の増設を決定しました。

臨床検査学科を新設予定 本学をさらなる大樹へ

学舎の増設、教員や実習病院の確保など、新学科の設立はそう簡単なものではありません。そんな中でも、本学は前身の専門学校開設以来、半世紀以上にわたり、多

学業以外でもハード・ソフトの両面で充実化

—学業以外の動きも積極的に進められているようですが。
 学長 「人間」として、「医療従事者」としての「個」を確立させるため、学業以外の活動も積極的になっています。今年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で自粛を余儀なくされていますが、学生のサークル活動やボランティア活動なども年々活発になってきました。また、近隣自治体との協力、連携も着々と進み、公開講座をはじめ、さまざまな取り組みが広がっています。

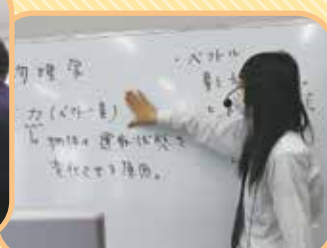
本学に求められるハード・ソフト両面の充実には終わりがありません。一人一人の学生が本学に入學して良かったと思える環境づくり

オンライン授業を実施

本学では今年度、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止の観点から、授業はインターネットを利用したオンライン授業やレポート課題などを活用いたします。「密閉空間」「密集場所」「密接場面」のいわゆる「3密」を避けつつ、十分な学修成果を収めることができる環境づくりに努めていきます。



テレビ会議システムを活用した基礎ゼミの様子



物理学をオンライン授業で行っている様子

と、地域連携による社会貢献活動の充実、深化を図るべく、引き続き尽力してまいります。

世界各国の報道で再認識 医療従事者の崇高な使命

—今年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を受けています。医療従事者の養成を担う大学としてのご意見を聞かせください。
 学長 今回の「コロナ禍」は日本だけでなく、世界全体が経験したことのない非常事態です。すべての立場の人々がその克服のために力を尽くす中、医療従事者に対する感謝・称賛を伝える行動が世界各国で報道されています。はからずも、医療に関わることがいかに崇高な使命を持ち合わせているのが改めて明らかとなり、身の引き締まる思いです。

将来、医療現場で活躍しようという志しを胸に本学で学ぶ学生一人一人が、入學の際の決意を新たに、一層勉学に励むことを強く期待します。本学に課せられた使命も、どのような状況にあらうと変わるものではありません。知恵と工夫を重ねて、着実に一つの課題を克服していきたいと考えています。

国家試験の傾向と対策について 学科・専攻長からのメッセージ

診療放射線学科 学科長 桑山 潤

令和元年度診療放射線技師国家試験は、理工学系科目で難易度の低い出題が複数あり、全国平均合格率は例年よりやや高い結果となりました。過去30年の周期で考えると国家試験の難易度は乱高下すると言っても過言ではありません。大切なことは、難易度の高い国家試験を想定して準備をすることにあります。国家試験の対策では、大きな負荷が学生にかかり孤独になりがちです。この難局に、保護者の皆様と一緒に臨んで頂くことが大きな力となると考えておりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション学科
理学療法専攻 専攻長 伊藤 芳保

令和元年度理学療法士国家試験は、前年度と比べてX・2(複数選択)問題

量を確保し、教員への質問などで理解を深める努力を積み重ねましょう。保護者の皆様には、学生に対して、自立に向け少しずつ手を離しつつも「心は離さず」に、常にエールを送って頂きますようお願い申し上げます。

臨床工学科 学科長 中尾 教伸

令和元年度臨床工学士国家試験は、過去問の類題など基本的な知識を問う問題が例年に比べて多く、やや平易な難易度でした。一方、複数の知識を組み合わせて思考力を問う問題の増加傾向は変わらず、臨床現場での思考過程や比較的新しい知識を問う問題も増えています。まずは、10年分程度の過去問を分野別・項目別に解いて傾向をつかみ、基本的知識を問う問題で得点できるようにしましょう。また、問題文中の用語をしっかりと理解し、各選択肢の正誤を理由も含めて解説できるようにすることが大切です。勉強の量よりも質の意識で取り組んでください。教職員一丸となり指導に努めますので、保護者の皆様におかれましてはご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

が多少増加傾向でした。介護保険に關する在宅に向けての知識の確認については、従来通りの傾向が続いています。基礎・基礎医学・理学療法基礎)をしっかり修得することが重要で、疾患名・評価項目名・検査名など、これまで通り英語表記が出ています。また、図や医学的画像・検査結果と知識がしっかり関連して結びつけられるだけの理解が必要です。とても数日で対策ができることではありませんので、普段の規則正しい生活と、勉強を続ける習慣が重要となります。保護者の皆様には、学修指導に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション学科 学科長 兼
作業療法専攻 専攻長 本田 豊

令和元年度作業療法士国家試験は、例年と比べて標準的な出題で、基本知識を正確に勉強したか否かの差が顕著に表れました。令和2年度以降に向け



就職部長からのメッセージ 病院・施設から本学学生の 採用に意気込み

本学では、求人をお寄せいただく病院・施設と学生が一堂に会する求人説明会を毎年4月に開催してきました。今年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を受けて開催中止。また、臨床実習も学内実習に変更した学科専攻もあり、病院見学やインターンシップの機会もままならない状況です。「自身の目で確かめる機会のない中での就職活動に不安を抱える学生や保護者の皆様に、ぜひともお伝えしたいことがあります。それは、病院・施設の方々からのお問い合わせで本学の学生に対する採用の意気込みを感じられたことです。感染症対応に追われる中でも情報発信に努め、ホームページや求人票、施設案内には、採用担当者の思い、就職後の教育制度、医療の特色などが盛り込まれています。限られた資源の中で情報をキャッチし、また、教員やOB・OGのアドバイスに耳を傾け、自身と向き合い、考え行動することが今後「層求められています。不安なときはご相談ください。」就職部長(工藤昌弘)



今年の参加者数は病院・施設が約660名、本学学生が4・3年生合計約600名で、今年も同規模の予定でした
サンシャインシティ(東京都豊島区)で昨年開催された求人説明会の様子



では、基本知識を満遍なく正確に修得し、試験で着実に点数にできる勉強に特化した反復学修を徹底していきます。また、どの知識が試験でどのように問われるのか、どのような対策方法ならば試験の成績に結びつくのか、自然と身につくように指導していきます。特に4年生に対しては、専攻独自のオンラインシステムにより自宅での国家試験学修や実力試験を一元管理して役立てます。保護者の皆様には、学生が毎日健康で休まず勉強に臨めるようにご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

看護学科 学科長 風間 みえ

令和元年度看護師国家試験は、正答率の低かった「人体の構造と機能」に関する出題の出来が合否の鍵でした。単に疾患だけで括るのではなく、生きている人間として患者様を見る眼を養い、臨床現場において自分の頭で考えることが、国家試験対策にも反映されます。保健師国家試験は、前年度同様に保健師業務の対象者に対する、予防医療から在宅医療まで多岐に渡り、実践的な事柄まで問う出題でした。自己学修で学修

事務局紹介 第5回

「国家資格の取得」と「充実した大学生活」の両立を目指し、さまざまな事務局がサポートに努めています。今回は入試課をレポートします。

新入生募集は入試課

入試課は、入学試験に関する業務全般を行っています。特に願書処理や運営管理、さまざまなデータ分析等が中心となります。また、高校訪問や進路相談会への参加など学生募集活動も積極的にを行っています。大学の広報イベントでは学生の皆様の参加も歓迎しますので、ご興味のある方はお気軽に入試課・広報課までお立ち寄りください。



入試課のスタッフ

新任教員の紹介



作業療法専攻 教授 小林 毅



看護学科 教授 石田 清美



看護学科 教授 小坂 恵美



看護学科 准教授 豊吉 泰典



看護学科 准教授 鈴木 直子



看護学科 講師 高橋 奈津子



看護学科 助教 櫻沢 亜希子



看護学科 助教 山田 志乃ぶ



新学科開設準備室 教授 伊藤 昭三